

様式例11 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	令和4年度
事業者名	事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 石井 宏之 住所 中原区今井南町28-41 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数36,404人、貸室利用件数2,361件、展示室利用者数11,755人
収支実績	収入総額29,630,302円 (指定管理料25,418,982円、利用料金収入3,128,610円、自動販売機収益267,878円、雑収入464,502円、補償・補填金350,330円) 支出総額28,882,523円
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 一部講座について、メールフォームでの申込受付を開始し、利用者の利便性が向上した。 ホームページにおける企画展やイベント情報のこまめな更新を行った。 開館30周年を迎えたことを好機に、地域や関係団体と連携のうえ充実した各種イベントを開催した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																																																																																																					
利用者満足度	事業成果	事業実施による成果の測定を適切に行っているか	10	4(0.8)	8																																																																																																					
		施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか																																																																																																								
<p>(評価の理由)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大対策を継続して行いながら、施設の設置目的及び事業計画に沿って貸室事業や講座、展示などの各種事業を適切に実施した。また、9月及び3月にはふるさと館まつりが開催され、合計5,866人が来場し、多くの市民にふるさと館のことを知ってもらうことができ、特に秋のふるさと館まつりは開館30周年を記念した特別な内容で大変盛況であった。地域を巻き込んだ展示は大山街道及び高津区の歴史、民俗に関する資料を広く市民へ広めるきっかけともなった。</p> <p>貸室については、これまで行ってきた予約方法の変更や利用制限の一部緩和等の利便性向上の取組が利用者に浸透し、新型コロナウイルス感染症まん延前を上回るだけでなく、好調であった令和3年度を更に上回り、収入が過去最多となったことは評価に値する。</p> <p>【参考】</p> <p>貸館利用収入比較(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> <th>平均(過去5年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>169,900</td> <td>154,360</td> <td>202,340</td> <td>213,200</td> <td>161,210</td> <td>189,220</td> <td>223,360</td> <td>182,730</td> <td>154,130</td> <td>149,720</td> <td>181,910</td> <td>187,620</td> <td>2,169,700</td> <td rowspan="5">2,362,038</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>179,620</td> <td>160,570</td> <td>228,620</td> <td>216,980</td> <td>166,570</td> <td>216,840</td> <td>227,940</td> <td>203,280</td> <td>192,960</td> <td>211,120</td> <td>174,890</td> <td>241,952</td> <td>2,421,342</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>213,060</td> <td>191,350</td> <td>263,250</td> <td>199,990</td> <td>187,020</td> <td>222,860</td> <td>251,930</td> <td>229,250</td> <td>197,290</td> <td>219,030</td> <td>193,040</td> <td>139,770</td> <td>2,507,640</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20,600</td> <td>-</td> <td>162,400</td> <td>213,880</td> <td>212,250</td> <td>205,720</td> <td>236,480</td> <td>221,080</td> <td>184,900</td> <td>128,640</td> <td>139,320</td> <td>201,840</td> <td>1,927,110</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>244,540</td> <td>239,620</td> <td>245,760</td> <td>235,090</td> <td>188,500</td> <td>243,420</td> <td>280,140</td> <td>265,080</td> <td>233,140</td> <td>192,200</td> <td>187,850</td> <td>229,060</td> <td>2,784,400</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>254,660</td> <td>261,140</td> <td>254,750</td> <td>250,560</td> <td>236,230</td> <td>229,840</td> <td>292,700</td> <td>287,060</td> <td>223,700</td> <td>287,880</td> <td>296,090</td> <td>254,000</td> <td>3,128,610</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者に対するアンケート調査についても、当館のより良い運営に反映させるため令和3年度よりも調査対象事業を増やしたうえで効果的に実施しており、成果の測定を適切に行っているといえる。</p>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)	H29	169,900	154,360	202,340	213,200	161,210	189,220	223,360	182,730	154,130	149,720	181,910	187,620	2,169,700	2,362,038	H30	179,620	160,570	228,620	216,980	166,570	216,840	227,940	203,280	192,960	211,120	174,890	241,952	2,421,342	H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,860	251,930	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640	R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,927,110	R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400	R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	287,880	296,090	254,000	3,128,610	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)																																																																																												
H29	169,900	154,360	202,340	213,200	161,210	189,220	223,360	182,730	154,130	149,720	181,910	187,620	2,169,700	2,362,038																																																																																												
H30	179,620	160,570	228,620	216,980	166,570	216,840	227,940	203,280	192,960	211,120	174,890	241,952	2,421,342																																																																																													
H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,860	251,930	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640																																																																																													
R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,927,110																																																																																													
R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400																																																																																													
R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	287,880	296,090	254,000	3,128,610																																																																																													
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	適正な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	10	4(0.8)	8																																																																																																					
		市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行を図っているか																																																																																																								
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3																																																																																																					
		<p>(評価の理由)</p> <p>燃料費高騰の影響による電気料金の大幅な値上げがあり、当初予算よりも約86万円も増加する決算となったが、この状況を見越して備品費等を最低限必要な支出に抑えることや、利用料収入の増加分を電気料金の支払に充てるなど全体の予算で調整し、サービスの質を低下させることなく、限られた予算の中で全体収支を黒字にできたことは評価に値する。また、貸室利用件数が増加している中、様々な節電の取組を行い、東京電力及び国の節電プログラムに参加できたことで一部電気料金の負担を軽減することができた。</p> <p>利用料金については、未収金を発生させず徴収事務を的確に執行した。</p>																																																																																																								

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか	20	4(0.8)	16																																				
		広報活動等、施設の利用促進に向けた取組がなされているか																																							
		地域団体や他施設と連携して地域及び施設の活性化に寄与する事業を展開しているか																																							
	郷土の理解を促進する取り組み	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	4(0.8)	12																																				
		常設展示について、来館者に訴求する展示となるよう工夫や改善がなされているか																																							
	利用者の意見・要望への対応	市民のニーズに即した文化事業を行っているか	15	4(0.8)	12																																				
		利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか																																							
	<p>(評価の理由)</p> <p>ふるさと探求講座の申込については、これまで電話または往復はがきにより受け付けていたが、一部利用者のニーズがあったため、メールフォームによる申込を試行的に開始したところ、大半の申込がメールフォームにより行われ、利便性が向上したといえる。また、メールフォーム導入に伴う不達アクシデントの対応、状況の改善も適切に行っている。</p> <p>さらに、講座や企画展、イベント情報等をこまめにホームページに掲載しており、ホームページの閲覧者数も年々増加していることは評価に値する。これに伴うセキュリティ対策として、PHPバージョンの更新についても併せて適切に行っている。その他、アンケート調査の結果によると、企画展やふるさと探求講座をホームページにより知った人の割合が年々増加していることについても、こまめな更新を行っている取組の結果が数字に表れており、ICT活用の面から利用者の利便性が向上したと認められる。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ閲覧数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成31年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規ユーザー数</td> <td>13,224</td> <td>12,430</td> <td>15,712</td> <td>17,861</td> </tr> <tr> <td>セッション数(訪問者数)</td> <td>21,764</td> <td>20,839</td> <td>25,680</td> <td>27,072</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成31年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「どの広報媒体により事業を知ったか」に「HP」と回答した割合</td> <td>16.0%</td> <td>16.0%</td> <td>25.4%</td> <td>31.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>展示においては、開館30周年記念として開催した企画展で、日本民家園や市民ミュージアム、高津小学校協力のもと、貴重な資料による充実した特別な内容で実施したところ、3,471人と多くの集客があり、関係機関や地域との連携を強化したことで今後の事業展開にも期待ができた有意義なものとなったといえる。開館30周年記念展の他にも、「昔のくらし展」など魅力ある展示を行ったことで、全5回の企画展入場者総数は昨年度比49.2%、1日平均は51.3%も増加し、たくさんの方々が市民・文化に触れてもらうことができたといえる。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展入場者数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成31年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画展入場者数</td> <td>5,015</td> <td>4,228</td> <td>6,316</td> <td>9,425</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他にも、地域の方々や団体と行政が連携する大山街道アクションフォーラム運営委員会において、令和4年度に発足した「まちの企画室」事業として開催された「まちの音楽祭」に全体の管理運営で協力した。また、春のふるさと館まつりにおいては、同事業で濱田庄司氏に関連した陶芸ワークショップや講演会などを開催し、関係団体や地域に所縁のある人物との連携により様々な事業を行ったことは、市民の文化の発展に寄与するものとなり、評価に値する。</p>							平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	新規ユーザー数	13,224	12,430	15,712	17,861	セッション数(訪問者数)	21,764	20,839	25,680	27,072		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	「どの広報媒体により事業を知ったか」に「HP」と回答した割合	16.0%	16.0%	25.4%	31.3%		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	企画展入場者数	5,015	4,228	6,316	9,425
		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
	新規ユーザー数	13,224	12,430	15,712	17,861																																				
セッション数(訪問者数)	21,764	20,839	25,680	27,072																																					
	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
「どの広報媒体により事業を知ったか」に「HP」と回答した割合	16.0%	16.0%	25.4%	31.3%																																					
	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
企画展入場者数	5,015	4,228	6,316	9,425																																					
組織管理体制	適正な人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3																																				
	担当者のスキルアップ	業務に関する研修を行い、職員の資質向上に努めているか	5	3(0.6)	3																																				
	安全・安心への取組	通常的安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3																																				
	コンプライアンス	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3																																				
	<p>(評価の理由)</p> <p>昨年度から引き続き、財団職員を4名体制とすることで、全ての利用時間帯において管理運営上の事務処理やふれあいネットを含む利用者への対応をきめ細かに実施した。</p> <p>一時滞在施設開設・運営マニュアルや災害時の応急対策に関する計画の更新、防災訓練を適切に行っており、非常時の利用者及び職員の安全管理体制を整えている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策においては、消毒や換気など館内における基本的な感染対策はもちろんのこと、市の行政運営方針に基づき館の運営方針等について、高津区と密な調整のうえHPにおいて利用者へ速やかに案内等をしたことは評価に値する。</p>																																								
業務実施	施設・設備の保守管理	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか	5	3(0.6)	3																																				
	<p>(評価の理由)</p> <p>施設の老朽化が進む中、定期点検等を遺漏なく行い、施設点検表を用いた管理や各種修繕を実施するなど適切な施設管理がなされている。また、館に貯蔵された貴重な資料の状態保持のため、専門業者と事前の密な調整のうえ、燻蒸を適切に実施した。</p>																																								

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきカーボンゼロチャレンジを踏まえた脱炭素の取組を行っているか。			1
	(評価の理由)	空調の温度設定、各貸室の利用者への節電協力のお願いやこまめな照明のオフなど様々な取組を行い、貸室利用件数の大幅な増加にもかかわらず、令和3年度に比べ413kWhの電気使用量を削減し、前年同月比10%の削減が条件となる東京電力及び国の節電プログラムに参加することができたことは脱炭素モデル地区である高津区の施設として評価に値する。			

5. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	B
-------	----	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準 (評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

一部講座のメールフォームによる申込受付の開始やホームページの充実など、少しずつではあるが、現在社会において求められているICTの活用による利便性の向上が着々と進められ、貸室事業に関しても、これまで指定管理者が行ってきた、利用しやすくなるような工夫が利用者間に浸透した結果が過去最多の利用料収入につながるなど、市民サービスの向上が各方面で効果的に図られたことは評価に値する。

また、開館30周年記念と位置づけたふるさと館まつりについても、日本民家園や市民ミュージアム、高津小学校など地域や団体を巻き込んだ各種イベントを開催し、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、多くの方々が当館を訪れる結果となった。

その他、支出や施設設備管理等についても、問題なく適切に行ったと認められる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い、市と密に連携を図りながら館の適切な運営を図ること。

過年度の取組を踏まえ、人材育成や利用者ニーズ把握等、サービス向上に係る各種取組を継続しながら、事業計画に基づき事業を適正に実行するとともに、令和6年度に迎える市制100周年等市政全体の施策を意識し、他施設や関係機関との連携を考慮するなど、館の存在感を高め来館者増につながる取組を検討されたい。

貸室業務については、好調を維持するためにこれまでの取組を継続したうえで、稼働率の上昇に伴って生じる予約困難などの課題や利用制限の緩和によるマイナスの影響と、利用のしやすさのバランスを図るための工夫などを検討すること。また、地域住民の理解のうえで事業が成り立っていることを十分に認識し、丁寧な説明を継続して行うこと。さらには、利用料金のキャッシュレス決済の導入検討に向けたニーズ把握など、利便性向上に伴う新規利用者の獲得の実現に向けて継続して工夫と努力を行うこと。

一部講座で試行的に開始したメールフォームによる申込受付については、試行で生じた課題等を整理し、他講座等に導入するなど、市民の利便性向上及び業務改善に取り組むこと。

博物館事業においては、常設展示の充実も含め、イベントに頼らない館の認知度向上に努められたい。また、ウォーキングステーション事業等の利用者に対しても、展示に触れ、郷土理解を深めてもらうよう工夫を行うなどさらなるアピールを検討すること。

これまでに構築した地域団体との良好な関係を維持すること。また、ふるさと館まつり以外にも、これまでふるさと館を利用していない若い世代の市民や、団体を誘客する方法の検討を行うなど、各種機会を捉えて利用者の増加に向けて一層努めること。

新型コロナウイルス感染症の影響が減少すると、インバウンド需要が増加することが予想されるため、市民はもとより訪日外国人や観光客などにとっても魅力ある館となるよう、広報や展示内容の充実にも努めるとともに、さらには大山街道や高津区の振興に寄与できるよう、より一層の努力と工夫を行いふるさと館の管理運営を実施すること。